

山梨の観光のビジョン

山梨のポテンシャルを100%生かし、観光の質の向上と観光産業の経営基盤の強化を図ることで、観光産業の稼ぐ力を高め、持続可能な観光地・山梨を創出する。

課題

- ・滞在時間の延長を促す環境整備
- ・地域資源の保全と観光利用の両立
- ・成長する外国人旅行者市場への対応
- ・多様化する観光ニーズへの対応
- ・県民受入意識の醸成
- ・ニーズに対応した効果的な情報発信

- ・宿泊業の低い労働生産性
- ・従業員の人手不足
- ・データを活用した旅行者ニーズの把握
- ・高付加価値を生む観光人材の育成
- ・収益性の高いビジネスモデルへの転換
- ・事業承継

方針

観光の質の向上(高付加価値化)

観光産業の経営基盤の強化

観光振興戦略

I 受入環境の整備

国内外の旅行者の満足度向上を図るため、滞在価値の創出につながる地域全体での上質な受入環境の整備に取り組む。
また、地域全体で温かく旅行者を迎えるため、おもてなしに主体的に取り組む人材の育成に取り組む。

<重点的な取り組み>

- ①観光産業の高付加価値化の促進
- ②グルマンエコノミーの推進
- ③デジタルノマドの受入環境の整備★
- ④レンタカー等による二次交通の補完★
- ⑤美しい景観づくりの推進
- ⑥地域一体となったおもてなしの推進

II やまなしツーリズムの推進

観光ニーズの多様化や旅行形態の変化に対応するため、環境に最大限配慮しつつ、本県の魅力的な自然景観や美食などの観光資源を活用し、サステナブル・ツーリズムの推進に取り組む。
また、他産業との連携によるブランド力の強化や戦略的なプロモーションに取り組む。

<重点的な取り組み>

- ①ガストロノミーツーリズムの推進★
- ②歴史・文化・スポーツなど地域の特性に応じたツーリズムの推進★
- ③アクティビティ・ベースの整備★
- ④特産品・土産品の高付加価値化の促進
- ⑤ターゲットを意識した情報発信★

III 観光地経営の高度化

観光産業全体で薄利多売からの脱却を図るため、地域内が連携した収益性の高いビジネスモデル(エリアマネジメント)の構築等に取り組む。
また、旅行者の多様なニーズを観光消費につなげるため、マーケティング調査及び分析に取り組む。

<重点的な取り組み>

- ①エリアマネジメント導入の促進
- ②業務の効率化等に資する観光DX導入の推進
- ③旅行者動向のマーケティング調査及び分析

IV 人材の確保・定着・育成

宿泊業従業員の賃金向上や職場環境の改善など安定的な労働環境の整備に取り組むとともに、生産性の向上や高付加価値化を担う経営者や従業員の人材育成に取り組む。
また、観光産業の経営資源を次世代に引き継ぐため、宿泊事業者等の事業承継に取り組む。

<重点的な取り組み>

- ①経営人材の育成・承継
 - ・経営者のデジタルリテラシー向上の推進
 - ・高度な経営に資する人材の育成
 - ・事業承継の推進
 - ・若手経営人材が活躍できる環境づくり
- ②従業員の確保・定着・育成
 - ・質の高いサービスが提供できる従業員の育成
 - ・宿泊業従業員の労働環境の改善
 - ・冬季観光の活性化などによる安定雇用の促進

★は特に外国人旅行者に対し重点的に取り組む。

数値目標

観光消費額(KGI)
4,330億円(R1) ⇒ 5,000億円(R8)
(15.5%UP)

360億円UP

宿泊客一人当たりの平均宿泊料(KPI)
11,465円(R1) ⇒ 15,500円(R8)
(35.2%UP)

宿泊業の平均年間賃金(重要指標)
379万円(R1) ⇒ 461万円(R8)
(21.6%UP)

170億円UP

食を目的とした観光客の飲食単価(KPI)
6,230円(R1) ⇒ 9,480円(R8)
(52.2%UP)

観光客一人当たりの平均消費額(重要指標)
12,498円(R1) ⇒ 14,500円(R8)
(16.0%UP)

140億円UP

観光客一人当たりの平均土産代・入場料・体験料等(KPI)
3,296円(R1) ⇒ 3,700円(R8)
(12.3%UP)

山梨県全体への観光客満足度(重要指標)
49.2%(R4) ⇒ 60.0%(R8)
(1.22倍)

推進体制等

- ・県民、事業者、関係団体等と連携した県民総参加による推進
- ・国、市町村との連携強化
- ・やまなし観光推進機構と地域のDMOや観光関連事業者の連携強化
- ・統計調査等の実施・活用